

つくばみらいの魅力、 発信します！

市では、市民協働のまちづくりを推進するため、市の魅力などを市民目線で発信してもらう、市民特派員とともに、広報紙の取材・編集を行っています。

今回は、「福岡堰の桜」を取材した際の様子をご紹介します。



市民特派員
やまだあき
山田亜希さん

春爛漫！福岡堰の桜並木

市内の桜が見ごろを迎えた4月3日、桜の名所のひとつである福岡堰には大勢のお花見客が訪れ、咲き誇る満開の桜を堪能しました。

関東三大堰の一つに数えられている福岡堰。小貝川と福岡堰から流れる用水路沿いには、約1.8キロにわたり大小合わせて約600本のソメイヨシノが植えられ、春になると薄紅色のトンネルを形成します。大きく張り出した枝が水面に映る姿も美しく、付近一带は、茨城観光100選にも選ばれています。

取材当日は、風の強い一日でしたが、時々、鶯の鳴く声も聞こえ、お花見に訪れた大勢の皆さんを楽しませていました。

桜のアーチを歩きながら、インタビュースタート。娘、孫



と一緒に来たという円城寺和則さん(牛久市)は「この桜はいつ来ても圧巻。遊歩道があるのでゆっくり歩きながら楽しめる。福岡堰に興味湧き、色々勉強をしている」と話してくれました。夫婦で訪れていた船曳正起さん(横浜市)は「以前、こちらに仕事で赴任したのがきっかけで知り、自宅のある横浜に戻ってからも毎年来ている。春になるといつ桜を見に行こうかと話をするのが毎年恒例」と笑顔を見せてくれました。福岡堰の桜に魅せられ、近くに住むことを決めたという引田君枝さん(つくばみらい市)は「毎年、桜を見るのが楽しみ。市外から遊びに来た友達を案内したい。自慢の場所です」と話してくれました。

きっかけがこの場所で、まちに興味を持ってくれた方。身近にある憩いの場所として親しむ方。市内外を問わずたくさんの方に支持される理由は、自然に地域と人とのつながりができるから。それが「福岡堰の桜」の魅力なのではないかと思いました。